

(件名) 北陸自動車道 桑取川橋PCグラウト充填工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	6月16日	特記仕様書	3	7.作業日・作業期間及び作業時間に関する事項	7-2冬季休止期間についてですが、本工事において足場設置・調査・施工・足場解体ならびに冬季休止を考慮した場合、工期 900日では工期内の竣工が困難と想定されます。全体工期及び施工手順については、受注後の協議と考えて良いでしょうか。また協議の結果、工期延長や監督員の指示で冬季中も施工することとなった場合、割掛け項目の供用日数は受注後の協議 指示で変動するため、協議対象と考えて良いでしょうか。	工期の変更は、工事請負契約書第24条のとおりです。割掛け項目の供用日数は協議対象ではありません。ただし、特記仕様書7-2に示すとおり、監督員が冬季休止期間中に工事を行うことを指示した場合、これに要する費用は別途協議し定めることとなります。
2	6月16日	特記仕様書	3	7.作業日・作業期間及び作業時間に関する事項	冬季休止期間中に箱桁内部に進入するための足場を設置することは可能でしょうか。また冬季休止期間中に箱桁内部の削孔やグラウト調査を行うことは可能でしょうか。	冬季休止期間中の作業については、特記仕様書7-2に示すとおりです。
3	6月16日	特記仕様書	3	7.作業日・作業期間及び作業時間に関する事項	エレベータ、吊足場等の設備について冬季休止期間中も存置しておくことは可能でしょうか。	冬季休止期間中の作業については、特記仕様書7-2に示すとおりです。
4	6月16日	特記仕様書	3	7.作業日・作業期間及び作業時間に関する事項	作業時間の制約はございますか。	特記仕様書7-3他に示すとおりです。
5	6月16日	特記仕様書	24	22-6	コンクリート削孔Aの施工前にPCグラウト充填調査A1(広帯域超音波法)による調査を行うこととなっております。通常、広帯域超音波法によるグラウト調査では現地計測の後にデータ解析・判定の時間を要します。本件は調査数量が多く、調査内容も多いことから解析・判定に要する時間も長くなると思われれます。広帯域超音波法の判定が出た部分から順次コンクリート削孔Aを施工するという理解で宜しいでしょうか。広帯域超音波法の現地調査が終わった部分から順次コンクリート削孔Aの施工を始めることは可能でしょうか。	特記仕様書22-6-3(1)に示す監督員への報告と確認を得たうえであれば、順次コンクリート削孔Aの施工は可能です。
6	6月16日	特記仕様書	26	23-1	現地状況及び調査結果により設計内容を変更する可能性があること記載されています。PCグラウト充填調査工の各種調査にはそれぞれ調査の適用範囲がございます。計測箇所によっては、計測出来ない場合も考えられます。こうした手法毎の条件についても現地状況の一つと考えてよろしいでしょうか。	設計図書等から適切な手法による調査を計画し、必要な費用を計上してください。設計図書に示す現地条件が異なる場合の工事の変更は、工事請負契約書第18条の各項によります。
7	6月16日	特記仕様書	21	22-4 22-5 22-6	調査工と削孔・充填工の施工順序等の指定はございますか。	特記仕様書22-4、22-5、22-6に定めるとおりです。
8	6月16日	特記仕様書	26	23-1	特記仕様書に明示された設計書の変更及び追加に関する事項の他に、追加される工種や数量の増減見込みのご予定はございますか。	特記仕様書に定める他、追加工種や数量の増減見込みの予定はありません。